



YANMAR

News Release

2021 年 4 月 20 日
ヤンマーホールディングス株式会社

小谷城スマート IC 栽培実験農場における 加工用トマトの実証栽培を開始



<小谷城スマート IC 栽培実験農場>

ヤンマーホールディングス株式会社のグループ会社であるヤンマーマルシェ株式会社(本社:大阪市、社長:山岡照幸)は、滋賀県長浜市とカゴメ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:山口聡)と連携し、2021年4月20日より滋賀県長浜市にある小谷城スマート IC 栽培実験農場において、加工用トマトの産地化に向けた官民連携による実証栽培に取り組みます。

本実証は、健康ブームを背景に、需要の高い国産加工用トマトの効率的栽培方法を確立することで、長浜市の農業者の経営安定化及び地域農業の持続的発展を目指すものです。高齢化や担い手不足に対応する「機械化一貫体系の構築(省力化)」や、コロナ禍において、遠隔地からでも栽培方法や肥培管理等の生産指導ができるスマート農業の実証を行います。

3 者は、小谷城スマート IC 栽培実験農場での実証栽培を機に連携・協力し、長浜市における加工用トマト

の産地化を目指します。2021年4月に農場への植え付けをおこない、同年夏頃の収穫を目指します。

■実証栽培概要

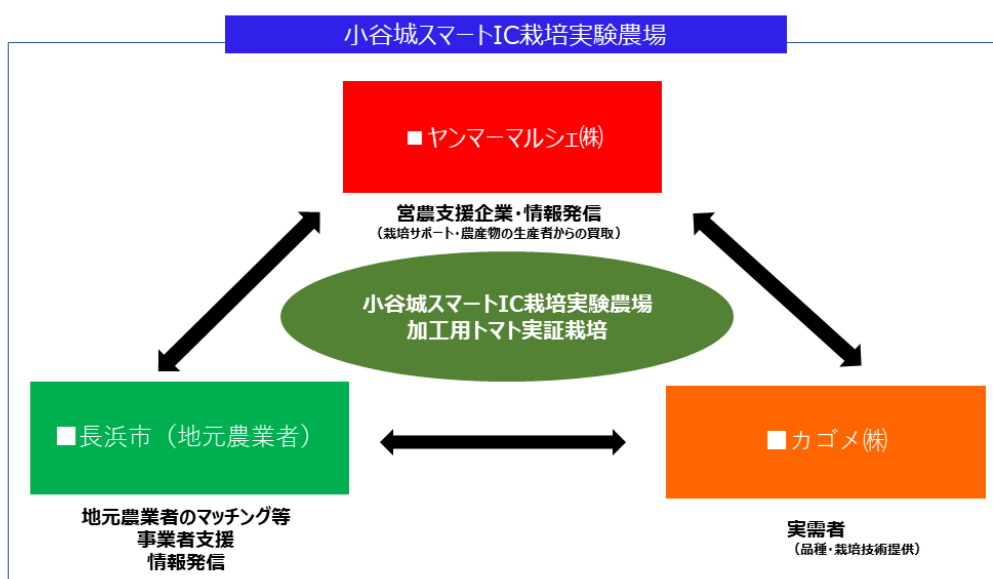
実証期間: 2021年4月20日(火)～2021年7月30日(金)

場 所: 小谷城スマートIC栽培実験農場(長浜市小谷丁野町地先)

実証内容: 30aの圃場(露地)にトマト苗約5,000本を定植。栽培の機械化、遠隔管理などにより効率的な栽培方法を確立し、産地化を目指す。

■本実証におけるヤンマーマルシェ(株)の役割

食事業の推進を目的に設立したヤンマーマルシェ株式会社は、本実証において、植え付けなどに使用する農業機械の提供、栽培サポートを行います。収穫後は農産物を買取り、カゴメ株式会社との売買契約に基づき6次産業化に活用する予定です。



<官民連携イメージ>

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報は内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【本実証事業に関するお問い合わせ】

ヤンマーマルシェ株式会社 フードソリューション部

TEL: 06-7639-9843

E-mail: yanmar_marche_food_solution@yanmar.com

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com